「骨シンチグラフィ解析ソフトウェアの
研究・開発・評価等のためのデータ収集」のお知らせ

骨シンチグラフィは、全身の骨の様子を撮像し、がんの骨転移や外傷等による微小骨折など、X 線検査ではわかりにくい様々な骨の状態を詳しく調べることができる検査です。通常診療においては、がんの骨転移の治療効果やその後の経過を見ることを目的として、全国で年間約 27,000 件検査実施されています。近年では骨シンチグラフィの検査結果を解析するソフトウェアが研究されるようになり、2019 年に新しく骨シンチグラフィ用の解析ソフトウェアが開発されましたが、現在は前立腺がんと診断された男性患者さんの検査画像に使用されています。今後女性患者さんの検査にも使用しより正しく反映させるために、この度女性患者さんの画像検査結果を集め、解析ソフトウェアの解析精度を高めることを目的とした研究が計画され当院も参加しています。

＜研究対象＞
当院で 2010 年 1 月 1 日以降乳癌と診断されて骨シンチグラフィを受けた患者さん

＜研究期間＞2022 年 3 月 31 日までを予定しています。

＜研究内容＞
年齢や性別、検査日、検査機器名、所見、転移の有無間などを診療録より収集し提出します。
また撮影した画像データも提出します。

＜研究依頼者＞
日本メジフィジックス株式会社　マーケティング部　ソフトウェアグループ
グループマネジャー　西川　和宏
住所：東京都江東区新砂 3 丁目 4-10　TEL：03-5634-7404

研究で集めるデータ（画像データも含みます）には患者さんのお名前や住所など個人を特定する情報は含まれません。データは研究依頼者に提供します。また、学会や出版物として公表することがありますが、いかなる場合でも個人情報が漏れることはありません。プライバシーは守られます。　本研究は当院の倫理・臨床研究審査委員会で承認されています。

本研究の趣旨をご理解いただき本研究に参加をお願いします。もし参加を望まれない場合は研究から除外しますので放射線科医師にお申し出ください。研究が始まった後でも自由に参加を取りやめることができますのでその際も放射線科医師にお伝えください。ご協力いただけない場合でも、今後の診療に不利益はきたしません。また、ご質問がある場合も放射線科医師にお伝えください。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2021 年 1 月 12 日
京都桂病院　放射線科診断部　部長　山岡　利成